



7月4日提出
申24号

2023年度冬期検証に関する申し入れ

2023年冬期は暖冬少雪であったものの、雪や低温に起因する輸送障害が発生しました。

現業、非現業問わず安全・正確な輸送サービスを提供するためにも奮闘した社員の声を基に、今冬期の課題を労使で確認し改善の実現を求め新潟支社に申24号を提出しました。

■ 申し入れ項目 ■

1. 12月1日～3月31日まで只見線のホーム除雪体制をとること。
2. 石打～岩原スキー場前間になだれ防止柵を設置すること。
3. 長岡駅南部留置については12月1日～3月31日まで全ての車両を庫内留置及び冬期体制とすること。
4. E653系水管凍結対策の効果について明らかにすること。
5. 始発までホームの除雪を徹底すること。
6. 越後線柏崎～吉田間において発生した架線凍結による集電不良に対する対策と課題を明らかにすること。
7. 2024年2月17日（土）臨回電、回9121Mと回9122Mを運行させた理由を明らかにすること。
8. 羽越線羽前大山～羽前水沢間下興野踏切における消雪設備の復旧を行うこと。

東日本ユニオンに加入して労働環境を改善しよう！